



中学生サミット事前学習 SDGs 研修会

5/20、市内全中学校で中学生サミットの事前学習として、SDGs研修会がオンラインで開催されました。

中学生サミットは、8/25(水)に市役所議場にて開催予定で、SDGs(持続可能な開発目標)をテーマとして、次世代を担う中学生が市の目指すべき未来に関して意見を持ち寄り、最終的に「中学生宣言」を採択して、市内外に発信していくものです。

今回の研修会では、中学生サミットをともに盛り上げていく仲間と交流するとともに、日本大学教授の田中賢さんから、SDGsについて身近な事柄を例にレクチャーを受けました。研修会を終えて、生徒は「SDGsについて知っていましたが、自分には遠いことのように感じていました。ちょっとしたことで地域や社会を変え、SDGsの達成に貢献できると分かりました。自分にもできることをたくさん見つけていきたいです」と感想を話しました。

将来にわたって大府市が住みよいまちであり続けるために、中学生の皆さんの若い力と新たな発想が存分に生かされる素晴らしい中学生サミットになるよう期待しています。



JR大府駅構内1階

▶物産ショップ
10:00~18:00
☎(51)4329

▶KURUTOカフェ
8:00~21:00
☎(77)4197



定休日
毎月1日
(土日祝の場合は翌平日)

※新型コロナの影響で、営業時間を変更することがあります。

KURUTOメニューがたっぷり楽しめる 人気のオードブルの盛り合わせ♪



人気のオードブルが自宅で楽しめます！新鮮な野菜のデリ、魚介やカモなどのお肉を盛り合わせたぜいたくな前菜盛り合わせです。予約限定で1人2000円から、予算に合わせて出来立てを作ります(2人分から)。予約受付は、注文日の2日前まで。「肉または野菜を中心にしてほしい」「アレルギーがあります」など、希望も電話で承ります。気軽にお問い合わせください。

※季節や仕入れ状況により内容は異なります(写真は一例です)。

Information

大府駅前で屋台気分♪ おおぶ駅前星空横丁開催

日時 7/29(木) 17:00~20:00(雨天中止)

場所 JR大府駅前広場(大府駅東口)

STEP1 駐車場でスマホを使って料理を注文

STEP2 飲食店から出来立てをお届け

※当日の開催予定は、KURUTOおおぶウェブサイトでご確認ください。



おおぶきっちゃん

今月の野菜
ピーマン・ナス



苦手な野菜を子どもたちの大好きなカレーに加えることで、好き嫌いをなく野菜を食べられるようになります。

夏野菜のカレーライス

▶▶ 材料(4人分)

米	240ㇿ	ピーマン	1/2個
タマネギ	1/2個	カレールー	40ㇿ
豚肉(もも)	60ㇿ	サラダ油	大さじ1
カボチャ	60ㇿ	コンソメスープの素	大さじ1/2
ナス	1/2個	ソース	小さじ2/3
ニンジン	1/4本	塩	少々

▶▶ 作り方

- ① 米を洗った後、水加減して炊く。
- ② 野菜は、それぞれ食べやすい大きさに切る。
- ③ 豚肉は、一口大に切る。
- ④ 鍋にサラダ油を熱し、②と③を炒める。
- ⑤ ④に水を加えて、煮込む。
- ⑥ 野菜に火が通ったら、コンソメスープの素を加え、カレールーとソースで調味し、仕上げる。
- ⑦ ①を器に盛り、⑥をかける。

※6/8に柘山保育園で提供したメニューです。

THE KEVIN Report

vol. 15



大府市国際交流員
ケビン・ハンフリーズ

カナダにボーナス払いはない

6月にボーナスをもらった人は多いのでしょうか？
日本で働き始めたとき、従業員のボーナス制度に驚きました。日本では、ほとんどの正社員が年に2回、数カ月分の給与に相当するボーナスを受け取るのが一般的です。そのため、ボーナスが支給される月に合わせて住宅ローンの支払い額を多くするなど、支払い方法を工夫しているのとよく耳にします。

カナダは違います。もちろん、ボーナスが支給される仕事もありますが、その多くは営業などのノルマのある仕事で、ボーナスは業績次第です。ほとんどの仕事は一般的に給与のみですが、ギフトカードのような小さな年末ギフトを受け取る場合もあります。なので、カナダの銀行には、「ボーナス払い」のようなシステムはありません。

カナダと日本の違いは他にもたくさんありますが、もう一つ際立っているのは、日本の企業では従業員に低料金で寮を提供していることです。新入社員が同僚と強い友情を育むことができ、なおかつお金を節約する機会にもなるので、素晴らしいことだと思います。その他にも社員食堂での食事の提供や交通費の支給など、日本は労働に対する待遇が寛大で、貯金しやすい労働条件だと思います。

広報おおぶ5月号では、日本の節約文化と消費者がお金を節約するための多くの選択肢があることについて書きました。今回の記事で、日本で働いている人も同じように選択肢がたくさんあると気づきました。さまざまな考え方が社会の中でどのように現れているのかを知るのはいつも興味深いです。



▲6年前にカナダの銀行で働いていたときのケビン(左)